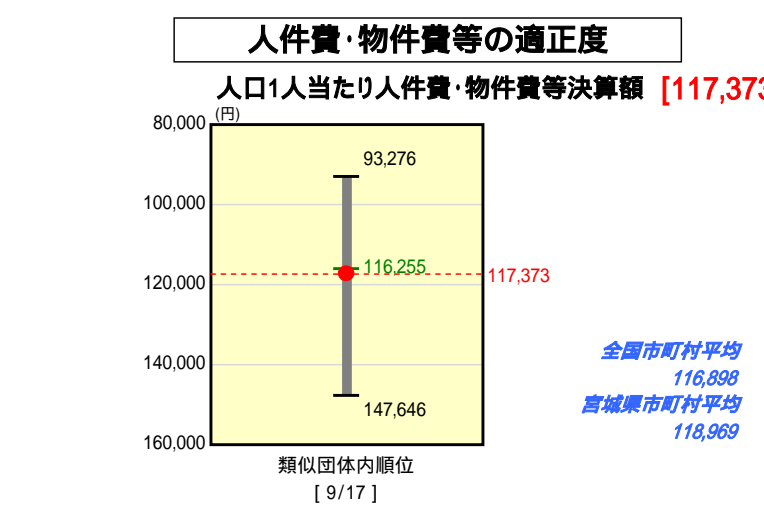
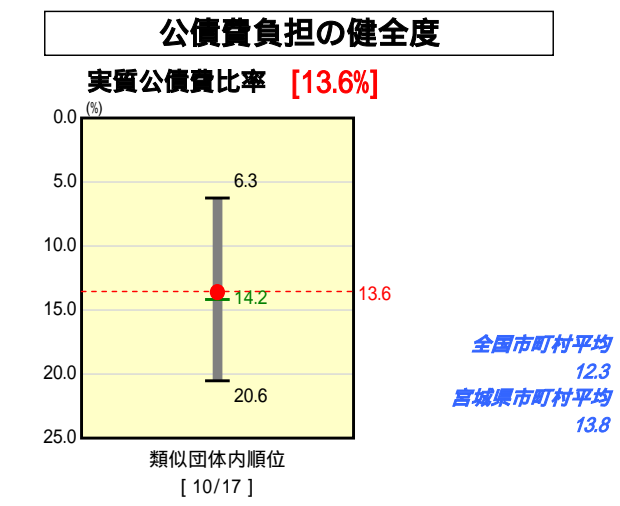
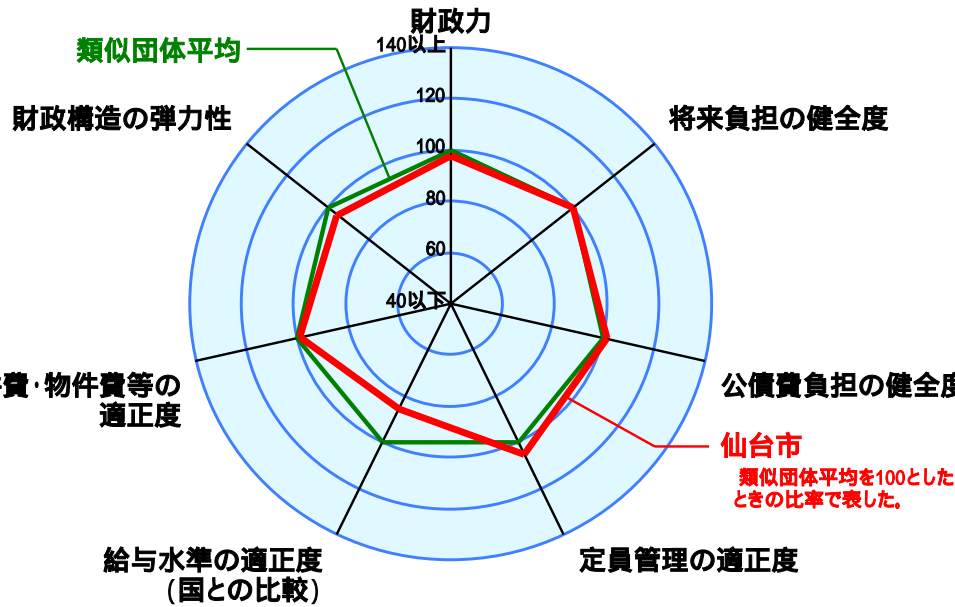
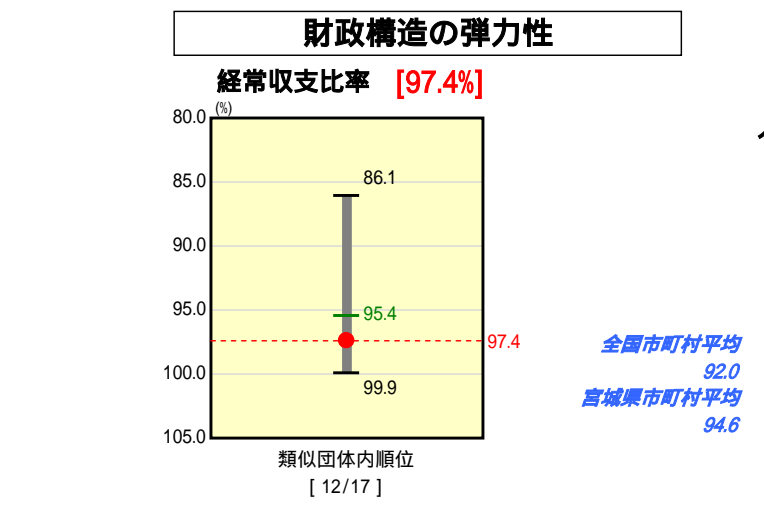
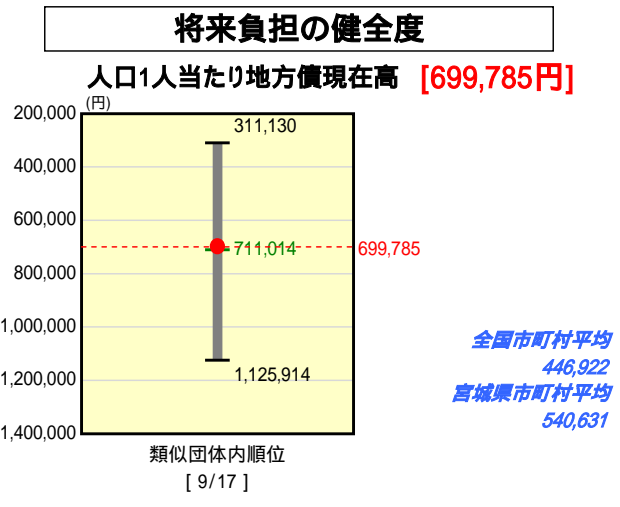
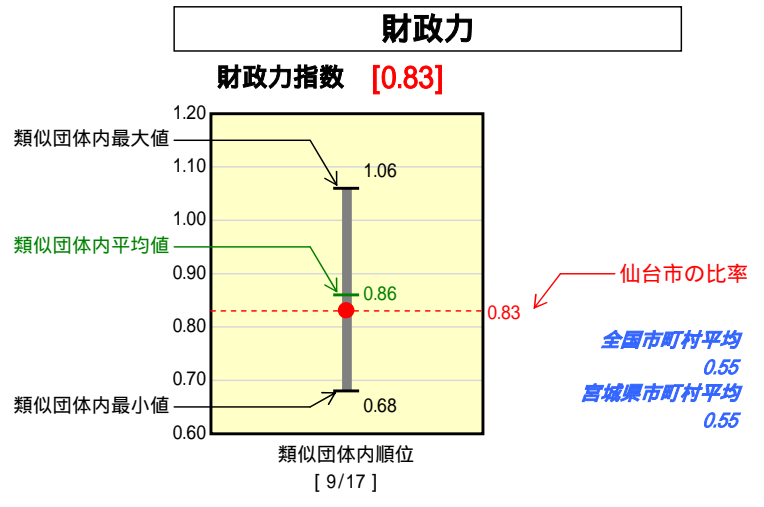


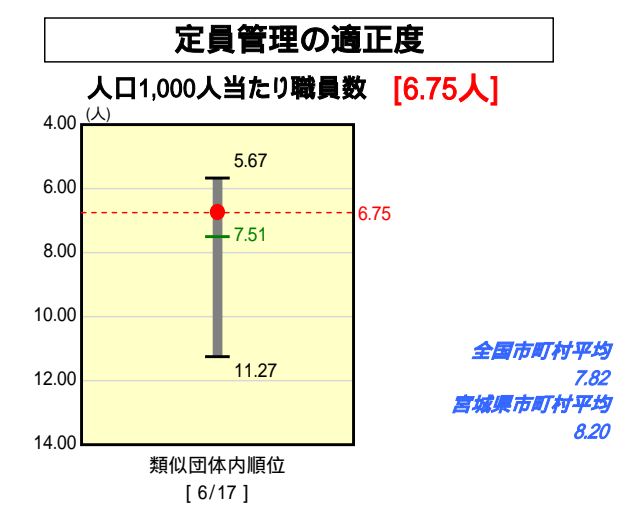
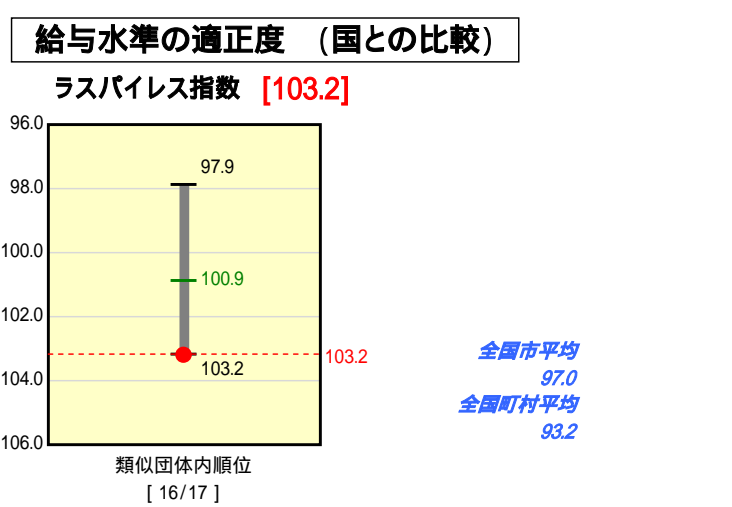
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

宮城県 仙台市

人口	1,003,733	人(H20.3.31現在)
面積	783.54	km ²
歳入総額	393,696,130	千円
歳出総額	389,692,579	千円
実質収支	585,872	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



分析欄

財政力指数
平成6～10年度は0.88前後で推移していたが、市税収入の減少等により平成13年度に0.80まで低下した。近年は基準財政需要額が圧縮傾向にあることなどから、若干の回復を示している。19年度は類似団体平均を0.03ポイント下回っており、ほぼ類似団体平均並みとなった。

経常収支比率
扶助費と公債費の増加傾向が続き、17年度までは6年連続で前年度の数値を上回っていたが、18年度は公債費の減少などにより93.2まで減少した。19年度は再び上昇し、類似団体平均を2.0ポイント上回ったが、これは扶助費と公債費が増加したこと等によるものである。

ラスバイレス指数
ラスバイレス指数は、国を基準として、諸手当を除いた給料の水準を示すものである。本市は地域手当の支給率が国より低いため、相対的に給料の水準が高くなっており、また、給与構造見直しの経過措置期間中であることから、19年度は高い数値となっている。今後、給与構造見直しによる地域手当の引き上げと給料水準の引き下げ、昇給抑制の効果が生じることにより、低下する見込みである。なお、人事委員会勧告に基づく給与改定を行っており、地域民間給与との均衡は図られている。

人口1人当たりの人件費・物件費等決算額
行財政集中改革計画の実施項目を着実に推進したことにより前年度より減少したが、類似団体平均をやや上回っている。

人口1,000人当たり職員数
直営施設の民営化の推進や家庭ごみ収集・運搬業務の民間委託等を進め、定員の適正化に努めてきた結果、本市の数値は類似団体平均を下回っている。定員管理の適正化については、今後も、事務事業の見直しや事務処理の効率化により、市全体で人員配置の見直しを進め、22年度当初までの間に、職員数を17年度当初比で1,000人以上削減することを目標としており、平成20年4月1日現在で595人の職員の削減を行った。

実質公債費比率
15～17年度の3か年は、公共用地先行取得事業債の大規模な満期一括償還が続いたことで公債費が増加し、数値が一時的に上昇していたが、18年度から償還ピークを過ぎ、19年度の同比率は算定方法の一部見直し等の要因もあり、前年度比で4.1ポイント減少した。

人口1人あたり地方債現在高
引き続き、公共投資の厳選効率化や市債発行額の抑制に努めた結果、前年度比で9,968円下回り、類似団体平均を11,229円下回った。